

- ロータリー財団月間に -

世界中に理解と友好の輪を広げよう！

国際ロータリー第2650地区
2001～2002年度ガバナー **西村 二郎**



1905年に創始された国際ロータリーは、現在、163カ国の29,900を超えるクラブとなり、約120万人の会員がロータリーの綱領のもとに集う組織となりました。

国際ロータリーの第6代会長アーチ・クランプ氏は、1917年、国際理解と親善を増進するための基金を発足しました。その後、この基金は1928年の国際大会で“ロータリー財団”と名づけられ、強化されていきました。

1947年、ロータリーの創始者ポール・ハリス氏の逝去を悼み、全世界のロータリアンから財団へ多額の寄付が寄せられました。その翌年、ロータリー財団は最初のプログラムを開始し、7カ国から選ばれた18人に大学院課程の奨学金を授与しました。

ロータリー財団への寄付は1970年代から1980年代に大幅に増加し、プログラムの種類も拡大と発展を遂げました。1983年には米国イリノイ州の法令の下に非営利財団として法人化され、その使命は、国際レベルの人道的、教育的、文化交流プログラムを通じて、世界理解と平和を達成しようとする国際ロータリー活動を支援することなのです。

1979年、フィリピンのマニラでジム・ボーマンR.I.会長が女の赤ん坊にポリオ・ワクチンを投与していた時、誰かにズボンを引っ張られていると感じて下を見ると、ポリオで脚が不自由になった小さな男の子が、ジム会長の腕の中の赤ん坊を指差して「ロータリー、ありがとう。僕の妹を救ってくれてありがとう」と言いました。これがロータリーの長期にわたるポリオ撲滅キャンペーンの始まりなのです。そして、私たちの地区がポリオ撲滅に参加する所以なのです。

国際ロータリーは、約20億人の子供たちを守るために、これまで米貨3億7,800万ドルを計上していますが、ロータリー創立100周年記念の2005年までに、世界からポリオ撲滅を目指して活動するための資金として約5万ドルを計上する予定です。世界保健機関のポリオ撲滅推進計画コーディネーターのブルース・アイルワード博士は、「ロータリアンの助けがなければ、ほとんどの地域で子供たちが免疫接種を受けられないでしょう」と言っておられます。

国際ロータリー第2650地区ではロータリアンのご協力を得て、昨年10月、京都においてWPRO（西太平洋地域）でのポリオ撲滅宣言を発表できました。このことは国際社会に多大な貢献をしたこととなります。本年度の地区社会奉仕委員会でも、国際ロータリーの方針に沿ってSEARO（南東アジア地域）のミャンマーでのポリオ撲滅を主たる活動としています。皆様のご参加を心からお待ちしています。

また昨年、ロータリー財団では新しく、地域社会の奉仕プログラム遂行のための援助を決定し、「Community Assistance Program (CAP=地域社会援助プログラム)」をつくりました。これは世界理解と平和を目的とする財団プログラムの活動支援のために、地区財団活動資金(DDF)を提供することなのです。

このように、財団プログラムへの参加は、ロータリー世界を国際的に結束させる重要な役割を果たしています。ロータリアンの皆さんに貢献していただいたことが、どのように使われているかを改めてご理解していただき、貢献できる喜びを共に分かち合おうではありませんか。

更なるロータリー財団への支援をお願い致します。

- 11月はロータリー財団月間 -

財団奨学生を派遣して50年

地区財団奨学金・学友委員会 委員長

中野 種樹

(京都西山RC)



財団学友チャリティーコンサート

私ども財団奨学金・学友委員会の役割は、ロータリー財団の各種奨学金プログラムに参加するため、それらプログラムの広報はもちろん、奨学生派遣のための募集、選考、オリエンテーション、交換学生の受け入れ、学友会の組織化等があげられます。そして何よりも大切なことは、このようなプログラムの成果を財団に寄付していただいた、ロータリアンや一般の方々に知っていただくことによって、財団寄付の行方をご理解いただき、更なる寄付の増進につながる努力をすることだと思えます。

今年より、ロータリー世界平和奨学金という、新たな奨学金制度が創設されました。世界平和と国際協力の専門家を養成するため、ロータリーセンターが、世界各地の8大学に7つのセンターを設立され、2002 - 2003年度より世界レベルで競争選抜された、70名の奨学生が7つのロータリーセンターに10名ずつ留学します。当地区は、ロータリーセンターパイオニア地区でもあり、これからも積極的に取り組んでまいります。

さて、国際親善奨学金プログラムは、1947年開始されたロータリー財団最初のプログラムであります。当地区においても、1952年1名の奨学生、宮野成二さんを派遣したのが始まりで、今日まで合計511名の奨学生を派遣している歴史があります。このように国際親善大使の役割を果たし、帰国した多くの優秀な学友とロータリークラブとの関係強化をサポートすることが、従来からの大きな課題であり、今後とも私どもの委員会の評価にもつながると思えます。

来年2002年は当R.I.2650地区より財団奨学生を派遣して、50年という節目の年になります。今年度下半期になりますが、50周年記念行事として、2002年6月2日(日)に京都北山のコンサートホールにて、学友によるチャリティーコンサートを開催することにいたしました。ロータリアン始め、広く一般のかたがたにもロータリー財団学友の存在をPRし、国際親善奨学金プログラムの意義を深めていく予定です。この記念すべきイベントの実現は、R.I.2650地区全クラブからの等しいサポートがあって初めて可能となります。その節は改めてお願い申し上げます。その節は改めてお願い申し上げます。

また、このような機会に、各スポンサークラブが過去に派遣した消息不明の学友を追跡調査していただき、ぜひロータリークラブとの関係を深めていただきたいと思います。財団学友の多くの方は、各方面で活躍されている方も多く、意外にロータリアン候補が出てくるかもしれません。もしそれが実現すれば、これほどの成果はないと思えます。

財団月間期間中は、国際親善奨学生や帰国奨学生を、ご依頼のあったクラブにスピーカーとして派遣いたします。このことは、これから留学する奨学生にとっては大きな励ましとなり、帰国奨学生にとっては、成果を報告することで、達成感とロータリーへの感謝の気持ちを伝える、絶好の機会となります。また、彼らを通して財団に対しての理解と、財団寄付の増進につながればうれしく思います。

- 11月はロータリー財団月間 -

財団研修セミナー開催

地区財団増進委員会 委員長

公文 俊一

(京都北東RC)



私にとってロータリーとは友情・奉仕です ロータリー財団なくしてロータリーはない

地区ロータリー財団研修セミナーが、去る8月18日(土)京都宝ヶ池プリンスホテルで開催されました。ご来賓、地区役員、クラブ会長、クラブ幹事、クラブ財団委員長、事務局の方々総勢320名のご出席を得て、有意義な時間を過ごすことができました。

セミナーでは、ロータリー財団管理委員長・千宗室様から「ロータリー財団の使命」についての貴重なご講演を拝聴し、その重要性、必要性について改めて認識しました。

ロータリー財団地域コーディネーター南園義一様には「ロータリー財団の現状について」のスライドを見ながら、わかりやすくロータリー財団についてご説明頂きました。

国際ロータリー日本事務局財団室室長・片岡暎子様には地域社会援助プログラム(CAP)と同額補助金の改正点についてその申請方法について具体的にご説明頂きました。

「GSE」「財団奨学金・財団学友」「世界社会奉仕」各委員長のお話を聞いていただいて、ロータリー財団といえば寄付集めのイメージをもたれていた会員に、ロータリー財団はすばらしい事業をやっているとアピールできたように思います。

西村ガバナーは地区の指針で、「ロータリーの奉仕を通じて生活の質の向上を図ります。生活の質とは、よい環境であり、教育の向上であり、地域社会・国際社会へのもろもろの貢献であります。

ロータリー財団へ貢献すること

即ちそれが

“MANKIND IS OUR BUSINESS”

とおっしゃっております。

世界理解と平和というロータリーの夢を追い続けるために、2650地区財団増進委員会からのお願い。

年次寄付は、1人当り150ドルを目標にご協力をお願いします。

恒久基金は、A.ベネファクター一括払い(1,000ドル)

B.ベネファクター協力会2001~2002
(1万円コース)を推進します。

クリスタル賞は、年次寄付と恒久基金(ベネファクター)の寄付合計が1万ドルですが、今までに集めておられたお金を加えてということで、改めて1万ドルということではありません。

遺贈友の会は、ロータリアン個人または夫婦で、1万ドル以上の遺産の受取人として、ロータリー財団を指名し告げるだけでよいのです。

会員の皆様のご協力よろしく申し上げます。



参加しよう

インターシティ・ミーティング第5組・福井
テーマ：ロータリー活動での感動的な場面

日時：11月17日(土) 登録受付 12:00 開会 13:00 閉会 18:30

ホストクラブ：福井北RC 会長 福島克治 会場：福井フェニックスプラザ

ゼネラルリーダー：宮崎茂和パストガバナー 実行委員長：吉田 桂

参加クラブ：福井、福井東、福井北、福井南、福井西、福井フェニックス、勝山、丸岡、三国、大野、鯖江、鯖江北、武生、武生府中、敦賀、若狭(16RC)

● 地 区 公 示 ●

国際ロータリー第2650地区 2003～2004年度ガバナー・ノミネー候補者の推薦

2003～2004年度の当地区ガバナー・ノミネー候補者を選考するため、去る8月25日京都ホテルにおいて「地区ガバナー指名委員会」が開催されました。この会議は国際ロータリー細則13.020.1に基づくものです。

慎重審議の結果、2003～2004年度当地区ガバナー・ノミネー候補者として、京都山城ロータリークラブ会員、福井正典（ふくいまさふみ）君を推薦することに決定致しました。

但し、地区内いずれのクラブからも別の候補者を推薦することができますので、推薦しようとするクラブは、クラブにおける候補者推薦に関する例会で採択された決議に従って、公示期間内にガバナー宛に提出することができます。

なお、その期限内にいずれのクラブからも候補者推薦採択決議書の提出がない場合、ガバナーは「地区ガバナー指名委員会」の推薦した候補者が、ガバナー・ノミネーであることを確定します。

公示期間は、国際ロータリー細則13.020.7に準拠し、地区ガバナー指名委員会によるガバナー・ノミネー選出公表から14日間とし、2001年10月29日（月）を以って公示期限とします。

国際ロータリー第2650地区ガバナー 西村二郎



福井正典 ふくいまさふみ

京都山城ロータリークラブ会員

シニア・アクチブ（茶卸売）

生年月日：1932年7月23日生 69歳

現住所：〒619-0204

京都府相楽郡山城町大字上狛小字

東作り道11番地の1

最終学歴：同志社大学商学部卒業

職歴

1955年3月 株式会社福寿園入社
1964年12月 同上 代表取締役社長
1990年3月 同上 代表取締役会長
1980年9月 宇治の露製茶株式会社代表取締役会長

団体歴

1994年6月 全国茶共同組合連合会相談役
1983年4月 日本茶輸出組合理事
1995年4月 京都商工会議所常議員
1996年6月 (社)京都府防犯協会連合会会長
1996年6月 (財)全国防犯協会連合会理事
1998年5月 (社)宇治納税協会顧問
1997年10月 木津簡易裁判所民事調停委員
1996年4月～2000年9月 同志社大学非常勤講師

賞罰

1992年5月 藍綬褒章
1993年7月 警察協力章
1998年10月 紺綬褒章

ロータリー歴

1965年5月 宇治ロータリークラブ入会
1970年7月 京都市陽ロータリークラブ創立会員・SAA
1977～78年度 京都市陽ロータリークラブ会長
1978年3月 京都八幡RC設立エクステンション委員
1978～79年度 R.I.第2650地区米山奨学委員会委員
1984年10月 平城RC設立エクステンション委員
1989～91年度 R.I.第2650地区特別代表（京都山城）
1995～96年度 R.I.第2650地区拡大委員長補佐（京都田辺）

〔その他〕

1978年7月 米山功労賞
1979年12月 ボールハリス・フェロー
1988年12月 ベネファクター2回
1990年4月 新クラブ設立功労賞
1991年3月 ガバナー賞
1992年6月 マルチプルフェロー8回
1998年8月 クリスタル賞
2001年4月 R財団遺贈友の会

- ロータリー活動での感動的な場面 - インターシティミーティング(第3組)

I.M.実行委員長 南沢 隆(亀岡中央RC)

2001～02年度第2650地区インターシティミーティング(第3組)が、8月25日(土)京都ホテルで、西村二郎ガバナー、坂部慶夫ゼネラルリーダー、ロータリー財団トラスティ、R.I.元理事千宗室様、R.I.元理事小谷隆一様ほか、多数のゲストガバナーをお迎えして、ホストクラブは亀岡中央RCが担当、「ロータリー活動での感動的な場面」をテーマに開催されました。

本会議に先立ち、指名委員会、地区資金委員会、諮問委員会、会長会議が開かれ、会長会議では次年度ホストクラブに京都田辺RCが選ばれ、本会議で発表されました。

西村二郎ガバナーの挨拶、ご来賓、ご来客、出席クラブの紹介。2001年R.I.広報賞が、京都山科RCに伝達されました。千宗室様の「人間高揚とロータリー」と題する基調講演をいただきました。特別プログラムとして第1部は、パネルディスカッション「ロータリー活動での感動的な場面」を坂部慶夫ゼネラルリーダーをパネルリーダーに、5名のロータリアンの感動的な体験談をお話しいただき、第2部では、坂部リーダーの司会により、座談会形式で「国際交流と国際理解のために...米山奨学生、学友に聞く」と題して、5名の奨学生、学友から、留学生活での楽しかったこと、つらかったことなど、生の声を聞きました。参加の皆様からテーマにふさわしい「感動」を共有できたとおほめをいただきました。

ホストクラブの亀岡中央RCは、創立8年目会員31名の少人数のため全員で取り組み、ガバナー、ゼネラルリーダー、地区幹事長、大会担当地区幹事の皆様のご指導をいただきながら、当日を迎えることができました。

裏千家のご厚意による「呈茶席」では、亀岡JCの同好会「青松会」の皆様や会員夫人の協力を得て、たくさんのロータリアンをもてなしました。

「手に手つないで」の大合唱で閉会式。続く懇親会では、中国琵琶の演奏と歌によるアトラクションにはじまり、会場あふれんばかりのロータリアンが、友情の輪を広げ、別れを惜しみつつ、全て無事終了することができました。

関係者の皆様はじめ、ご参加のご来賓、ご来客、会員の皆様ほんとうにありがとうございました。

何といても、会員の減少にもかかわらず、登録率は過去5年間で最高を記録したことがホストクラブとしての励みになりました。



- きれいな水を次世代へ - インターシティミーティング(第1組)

I.M.実行委員長 中川豊太郎 (滋賀湖北RC)

今世紀最初の第1組インターシティミーティングは、9月8日(土)長浜市民会館に於て西村二郎ガバナーの出席を得て、山崎時雄直前ガバナーをゼネラルリーダーとして御指導を仰ぎ、パストガバナー、岡村ガバナーエレクトの御来賓をお迎えし、県内702名のロータリアンの出席のもと開催されました。

北近江夢幻塾の皆様で - 水が商品になる時代、でも何かおかしい - と現代社会を風刺した寸劇に開会式典の緊張から解放され、ホッとするような雰囲気の中でパネルディスカッションが始まりました。

「レイクびわ1400」をテーマに、近畿の水瓶として恩恵を受けておられる、京阪神1400万人の人達のために、琵琶湖を取り巻く22RC、1280人のロータリアンが今何をなすべきか、立命館大学の今井清氏を中心に、西浅井中学校長の村上宣雄氏、前県地域婦人団体連合会副会長の宮地忠子氏、そして地区環境保全委員長の城守勇治氏をパネラーにお願いし、会場からの活発な意見の交換もあり、ロータリアンとしてきれいな水を次世代に引き継いでいく強い意志と行動力が必要であることを確認し、何をなすべきかを考えさせられる有意義な90分



した。

友愛タイムの後、白鷗大学の福岡政行氏による「美しい力強いニッポン再生への提言」と題して、特別講演をいただきました。

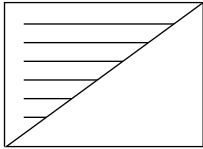
今、私達の周囲は、世界的な株安とデフレ現象とが相俟って、政治、経済、社会共に混沌としています。政治の裏話や国際社会の話などを交えて、自らのボランティア体験を通して、21世紀を担う子供達に感動を与えてほしいとの熱弁は、参加者の胸を強くうちました。

今回のI.M.は、1人でも多くのメンバーが閉会式典まで残っていただくことを念頭にしており、50名余の人は職業奉仕で早退されましたが、大多数の皆様に残っていただき、ゼネラルリーダーの御指導で85名余の一般市民の参加もあって、最後まで盛会裡に終了することができました。ロータリアンの皆様の友情に心から御礼申し上げます。

なお今回は、会場入口に、太平洋諸島安全免疫計画医療機器支援チャリティ - ボックスを設置させていただき、御協賛いただきました。福岡先生や一般市民、ロータリアンの皆様にご感謝致します。

私達ホストクラブの数々のいたらぬ点や不行届きのことなど、ロータリーの寛容でお許しいたいただきますようお願い致します。次年度ホストに大津唐橋RCが決定し御快諾されました。宜しくお願い申し上げます。





クラブだより

堀場パストガバナー

武生ロータリークラブを訪問

武生RC 西野 剛

7月2日(月)、堀場PGが武生RCにお出でになりました。これは中西眞一郎新会長と堀場PGとは、地区の職業奉仕委員会で旧知の仲であったことから、お祝を兼ねて、久しぶりに北陸で一日ゆっくりしようとお考えからお出になったと思います。



ところが、堀場PGには大変な災難になりました。前日武生で下車して戴く予定のところを、次の福井駅まで足を伸ばしていただき、直ちに福井テレビで「おもしろおかしく」ノーカットのビデオ撮りとなりました。6時30分からは武生RC会員の歓迎攻めとなりました。

夜11時にホテルへ帰られ、翌朝8時から御朝食。すぐさま武生RCの会員である今立町長のたつての依頼で、今立町福祉会館にて「ベンチャー企業元祖の人生哲学」をこなされました。その直前には、福井FM放送の「言の葉」の収録に応じられ、講演会終了後は、11時からFBCラジオの生放送。12時30分より、武生RC例会、そのあと武生RC主催の「おもしろおかしくの発想」の講演。

先生もさすがにぐったりで、皆、気の毒の一言で恐縮しておりました。堀場PGにはあまりにもひどい歓迎となりましたが、地域でのロータリーの広報にはまたとない機会となりました。

RI意義ある業績賞

意義ある業績委員会 委員長 直前ガバナー 山崎 時雄

選定基準：

プロジェクトは、地元の問題またはニーズを対象とするものか？(どのように意義あるものであっても、国際奉仕プロジェクトは本賞を受賞する資格はありません)
プロジェクトは、単なる金銭的な奉仕でなく、クラブ会員の大半または全員が直接参加するようなものか？
プロジェクトはクラブの大きさ、入手できる資源に釣り合ったものか？
プロジェクトは地域社会にロータリーのイメージを高揚するものか？

プロジェクトは他のロータリー・クラブがこれを模範とすることができるか？
プロジェクトは当該年度に始められたものである必要はないが、現に実施中、もしくは、その表彰が行われる現ロータリー年度に完了するものか？

申請手続き：

活動の目的、記録写真、活動の状況とその成果の判断できる申請書を、ガバナー事務所へ提出して下さい。

締切日：

2001年12月末日

優秀クラブ会長表彰

次の課題の内1つ優秀な成績を修められたとき、クラブ、または会員を2002年4月の地区大会において表彰いたします。

2002年3月30日(金)必着で、ガバナー事務所まで報告してください。

会員増強(業績を両方とも記入のこと)

地区会員増強セミナーに出席する。
自ら3名の新会員をスポンサーする。

ロータリーに対する公共的イメージ(3つの業績の中

2つを記入のこと)
ビジネスおよび社交行事の場でロータリーの襟章を着用する。
適切な地域社会の行事にクラブを代表して出席する。
地域社会におけるロータリーの役割に関して、地元地域社会ならびに世界に少なくとも2回伝える。

ロータリー教育と研修(4つの業績の中3つを記入のこと)

会長エレクト研修セミナー(PETS)に参加する。
2001年地区協議会に出席する。

地区大会に参加/登録する。
米国テキサス州サン・アントニオでの2001年国際ロータリー大会に参加する。または、スペイン、バルセロナでの2002年国際ロータリー大会に登録する。
最低6回、クラブでロータリー情報会議を開催する。

クラブの発展と改善

優秀クラブ表彰の受賞資格を得たクラブ。

バルセロナ国際大会へのお誘い

バルセロナ国際大会委員長 **マリオ・グラッシ**

小高いモンジュイックの丘の頂上に立って、バルセロナの賑やかな通りや、地中海のきらめく海を見下ろしている光景を想像して下さい。そうすれば皆様は、スペインの照りつける太陽と、紺碧の海からのそよ風を感じ取ることができるでしょう。また、眼下に広がる、たぐい稀な都市、あらゆる喜びに満ち溢れているこの都市を探索したくなるでしょう。更に皆様はこの丘の上にオリンピックのために建てられ、第93回ロータリー国際大会の会場となるサン・ジョルディ館での素晴らしい体験を心から望まれるでしょう。

情熱の国スペインで開催される2002年ロータリー国際大会へ出席されれば、そこから得られるものは計り知れません。伝説の都バルセロナで行われる今年の大会は、皆様の宝物ともいべき生涯の思い出となるでしょう。

国際大会の中で最も深い感銘を受けるイベントの一つは、開会の国旗入場式です。一度これを体験したロータリアンは、その感動的な催しを決して忘れません。特に、バルセロナ国際大会では国旗入場式を感動的にするための特別な計画が進んでいますから、ぜひ見逃さないで下さい。

国際ロータリー・バルセロナ大会 2002年6月23日～26日

2002年6月23日～26日に魅力的な都市バルセロナ(スペイン)で開催される2002R.I.国際大会に際し、リック・キングR.I.会長は、その重要性を高く評価され、熱意を持ってロータリアンの方々が一人でも多くバルセロナ大会へ参加されるよう呼びかけをされています。

情熱の国スペインは、多くの個性的な観光地に恵まれており、スペイン料理もその魅力のひとつです。通常では、10月頃から個々のロータリークラブで計画しているところを大会の理想的な計画立案の必要上から、参加者数の予想を早めに立てる必要があります。早めに予備登録をして頂きますようお願い申し上げます。(年内登録者には登録料の割引料金が適用される特典があります。)

ガバナーエレクト事務所開設のお知らせ

2002-2003年度

岡村吾郎ガバナーエレクト事務所が

10月2日(火)より開設されました。

〒630-8381 奈良県奈良市福智院町5-3

TEL 0742-25-2650 FAX 0742-25-2651

ガバナー表敬訪問

2001年8月6日(月) 京都紫野ロータリークラブ



会長 建内光義・幹事 丹下康夫

{Nn§ 25 N }f ⊕ AN u
fi" e Z> • At S
~、~α ⊕ AN uAbZ u
[αQ` B% E ~1 "%>
E A[%N u^c" ' ⊕
% B i0." Lj

2001年8月7日(火) 京都山科ロータリークラブ



会長 小林一恵・幹事 小原 晃

増田房二ガバナーを出された、歴史ある模範的なクラブ。地味ながら必要なことは全て順当に実施されています。今後は30代の若手会員を集められるとともに、山科という地域に、もう一つクラブを作る位の勢いがほしいです。

(小林哲夫 記)

2001年8月9日(木) 峰山ロータリークラブ



会長 小松通男・幹事 伊東 眞

昨年創立40周年を終えられた、歴史あるクラブ。ここ数年会員が減少したのではあるが、本日女性会員2名を含め5名の新入会員が入会され、ガバナーよりバッジが授与され、今後のクラブの活性化に期待します。

(前川清昭 記)

2001年8月10日(金) 檀原ロータリークラブ



会長 久保伊一・幹事 安田信司

檀原神宮に、伊勢美登宮司さん檀原中央RC会員はじめ神宮関係者のみなさんにも出迎えられ参拝。おごそかな気分の中で例会に出席。ガバナーがスピーチをされている間、雑談もなく静聴され、伝統が脈々と生きづいているクラブと感じました。

(辻 建而 記)

2001年8月21日(火) 亀岡ロータリークラブ



会長 出口文彦・幹事 小林正和

山田パストガバナー、会長、幹事の出迎えを受け、由緒ある明治の洋館、楽々荘で懇談会。例会も協議会スタイルで進められ、記念写真を挟み、協議会へと進行。会員の皆さんの活発な発言。元気なクラブとお見受けしました。

(木下右門 記)

ガバナー表敬訪問

2001年8月22日(水) 五條ロータリークラブ



会長 森元重光・幹事 石井光洋

台風一過、無事到着。森元会長、石井幹事は会員数50名を確保するために並々ならぬ意欲が一杯。純増5名との力強いお話でした。例会の出席は45名中44名。さすがにここ4年間、100%出席を達成しているクラブでした。

(千振和雄 記)

2001年8月23日(木) 奈良西ロータリークラブ



会長 西島佳悦・幹事 吉村信男

会員の皆さんは、ロータリーについて良く精通され、素晴らしいクラブの一つであると感じました。国際青少年交換の取り組みも、長年に渡り積極的に活動され多くの成果をあげられています。このような地道な活動が、今後のクラブ発展に繋がると強く感じた次第です。

(辻 建而 記)

2001年8月24日(金) 京都洛西ロータリークラブ



会長 大野暉八郎・幹事 前野芳子

二年前、大日方ガバナーを擁立され、併せて地区大会のホストもされた、1騎当千の強者揃いの中堅クラブ。地区のことも充分理解され、模範的な活動がされている。今年度幹事は、地区内初の女性幹事で好印象を受けました。ご健闘を祈ります。

(小林哲夫 記)

2001年8月27日(月) 大和郡山ロータリークラブ



会長 中屋三司・幹事 尾崎勝彦

「以和為貴」。中屋会長は“争いの無い組織運営”を強調。和やかで素晴らしいクラブ。毎年地元の特色を生かした、金魚や鯉の放流は、地域の青少年育成と環境保全に、多大な成果をもたらしています。

(西村信行 記)

2001年8月28日(火) 京都洛中ロータリークラブ



会長 八木喜久男・幹事 山本祐三

創立22年目の中堅クラブ。坂部ガバナーの擁立、地区大会のホスト担当。京都市中、京都モーニングの新設等多くの業績を挙げられ、地区内きっての元気なクラブです。昨今の会員減少が目立ち、増強が望まれます。

(小林哲夫 記)

ガバナー表敬訪問

2001年8月29日(水) 大津東ロータリークラブ



会長 岩崎辰雄・幹事 野玉智弘

伝統を保ちつつ、個性的なクラブへの
変身を図ろうと、岩崎会長始め、地区
でご活躍の松村会員、志村会員、理事
役員の皆様の感性豊かな、まとまりの
あるクラブとお見受け致しました。

(阿閉嘉美 記)

2001年8月30日(木) 大津西ロータリークラブ



会長 橋本 猛・幹事 徳永良孝

委員会活動が、積極的かつ熱心であり
感銘を受けた。2つの委員長を兼任され
ている場合もあり、運営の御苦労の様
子がうかがわれた。青少年委員会の
「中学生の作文募集」のテーマは、環境
保全委員会との協力で、湖上に於いて
の「新世代会議」は着想もよく、ガバ
ナー賞も狙えるアイデアであると思わ
れた。

(阿原道正 記)

2001年8月31日(金) 大野ロータリークラブ



会長 足立悦久・幹事 築川 満

来期創立40周年を迎えられる。足立会
長始め中村会長エレクト、宮本元会長
の活力あるご発言に、西村ガバナーも
大満足。新会員への対応もすばらしく、
今後大いに発展をされることと拝見致
しました。

(阿閉嘉美 記)

2001年9月4日(火) 水口ロータリークラブ



会長 西岡祐之・幹事 森岡 繁

昨年創立40周年を向かえられた、伝統
あるクラブです。通算2000回の記念例
会に出席させて頂きました。本年より、
ローターアクトクラブをスタートされ、
益々充実した、楽しみ多い元気あるク
ラブです。

(前川清昭 記)

2001年9月6日(木) 草津ロータリークラブ



会長 小泉 仁・幹事 中村良三

小泉会長以下会員全体がよくロータリ
ーのことを勉強されておられ、今年度
の目標の一つ「会員増強」に対しても、
クラブでパンフレットを作成されるな
ど、会員一丸となって取り組まれる姿
勢に感銘を受けました。

(奥田正男 記)

未来への発信

喜ぶ人の顔が見たい！



鯖江北RC 加藤 団秀

私がロータリークラブに入会させていただいて、はや9年がたちました。その間、経済情勢が厳しくなるにつれて、益々、ロータリークラブの存在意義が重要になってきたと感じます。

10年程前には、日中歩くことさえ危険だと言われたニューヨークのスラム街ですら、ここ数年のアメリカの好景気により、一人歩きができるようになったことなどを考えると、今の日本の混沌とした現実は全て経済情勢の悪化のせいだと考えられがちですが、本当にそうでしょうか。

私が生まれた昭和30年代と比べても、物質的にはかなり豊かになりました。しかしその一方で、私が子供の頃に経験したような、心からの喜びや感動の場面にはなかなか出会わなくなりました。そんな時、ロータリークラブの諸先輩方が青少年活動や社会奉仕活動を始めとする数々の活動に対して積極的に取り込まれている現実を目のあたりにし、私も参加させていただくことによって心の底からの充実感・幸福感が生まれたのです。人々が喜ぶ顔を見ることができるといふ、人間にとって最大・最高の感動を与えてくれたのが、まさにロータリーでした。

経済不況のシカゴからロータリークラブが誕生したことを考えると、今の日本こそ、ロータリークラブの第2の誕生にふさわしいと考えます。「喜ぶ人の顔が見たい！」お金にかえることができないこの感動の輪を世界中に広げることが、ロータリークラブの21世紀の使命だと考えます。私にも与えられた感動が、喜びの輪が、世界中で花開くことができるように頑張っ

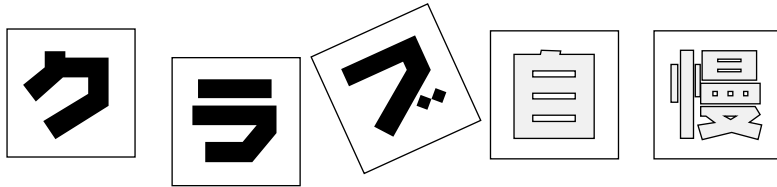
て活動してまいります！

ローターアクトに出席を



舞鶴東RAC会長 長井 崇

{Nx A RAC . .t - . Bæ " RAC . t s " , « E " ~ / t . ç . B [^ A Fl ARAC E o " t E % - ~ " E . ' H @ ç æ ¥ RC Fl ~ æ " t ç ~ o f " Ø - / Bæ ¥ RC Fl " ' / - . ' H @ RAC E f ~ ç . ~ A " > ç [^ A " ZMS t w - t f " ~ , ç ~ o E . B » E " ~ AN ^ [~ ~ " ç - ~ " - . B [^ [~ [^ [AN g " A > eq ~ E . BRAC ~ ~ A [^ A Fl " " > ç e - E » ~ ' « - . BRAC " N % > t æ n s " E A B " ; a § ' m fl > ~ ç . B » ~ er , % E . " AAN ^ [~ N § " E 30 . " Ø ~ t ~ " > ~ ~ ç fl " æ B » ~ ' " æ % > t æ AN ^ [~ m E ç AF [~ ç . BiRAC " t . " ~ . ~ fi - « Ø " A " « i [^ A j x f ~ , ç ~ ç Ø ' - . Bj ; Nx A B RAC - " n s E ' un er Qæ . t y y ' f c v z X g v . B [^ A Fl t o " o ç ~ o E . B " - E x RAC E « ^ æ - ~ " t ç I @ » ~ RAC m ~ ~ " t ç I AN ^ [~ > ç ; ß " ~ ~ " t ç I @ æ ¥ RC A ç æ ¥ RC W " > RAC s o z " t ç I « ~ ~ Fl S " > E Ø - / B



楽しく、スマートな50周年を迎えよう

廣瀬 安彦（彦根RC）

前年度地区ガバナーとして山崎時雄君を送り出し、クラブから37名がガバナー事務所に出向し、PETSに始まる各種会議、各クラブへの公式訪問、頻繁に行われる地区委員会に出席し、目のまわるような忙しさの中にも、地区としての動きや、他クラブの新しい情報も聞くことができ、また、彦根南クラブ主管の地区大会にもクラブ全員が積極的に協力し、有意義な一年が過ぎました。

次年度は、創立50周年を迎えようとしております。現在、準備委員会から実行委員会に移行し、「楽しく、スマートな50周年を迎えよう」のスローガンのもと、メンバー丸となって、記念事業等の企画に取り組んでおります。

私共のクラブには、ゴルフ、野球、謡曲、グルメ（うまいもんを食する会）の4つの同好会があり、それぞれの趣味にあった会員が集い、活動しております。

なかでも謡曲は、山崎時雄リーダーのもと、約20年の歴史を誇っております。現在は、約20名のメンバーが月2回、午後7時から2時間練習をします。ただ、この2年間は、山崎時雄リーダーが、ガバナーエレクト、ガバナーとして東奔西走の毎日でしたので、あまり練習ができませんでした。稽古日にメンバーが顔を揃え、お腹の底から声を出し、みんなの声が一つになった時は満足感でいっぱいです。同好会を通じて、本当に心の通じた仲間ができることを実感しています。



新年例会の前座をつとめる謡曲同好会

我が「京都東ロータリー」というところ「紳士の集団」津田 知宏（京都東RC）

東ロータリークラブの自慢というより、どの様なクラブであるのかとひと言で言えば、「紳士の集団」ということである。

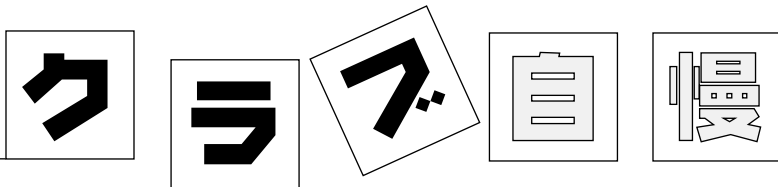
「世代間較差の縮小を！」というのが今年のテーマではあるが、年輩者が弊害になっているのではなく、いわゆる戦後生れの会員が少ないのであって、クラブの近い将来を考えてのテーマである。

一世代もの差がある先輩と対等の会話ができること、そこにはお互いに余計な遠慮は不要であり、紳士として言いたいことが言える雰囲気にあると思う。百数十名も人が居れば、気の合う者も合わない者もあるだろうが、派閥もなく良い雰囲気である。そのような閥を作る心の狭い人は居ないと思う。

他クラブの一般的な評として、東クラブは「かたい」ということである。とんでもない。最低限のマナーを守り義務を果たしておれば、自由である。マナーと義務、それぐらいのことは、ロータリークラブに入会する社会人なら判断できよう。

会員の意見にもあったが、会員数には適度な数があると思われる。百数十名の会員数は、少なくともなく、多くもなし。目がゆきとどき、しかもさみしい例会でもない、本当に適当な東クラブの会員数だと思ふ。





日本100選の森「山門水源の森」

横井 伸敏（滋賀湖北RC）

3万年前にできた山門湿原、それを守っている山門水源の森。この湿原の特徴はなんといってもミツガシワ群落で、尾瀬ヶ原がミズバショウで有名なら、この山門湿原はミツガシワである。これだけの規模のミツガシワ群落は滋賀県一であり、近畿でも屈指の湿原である。またコサナエ、マルタンヤンマなどトンボの宝庫でもある。

このすばらしい自然の宝庫「山門湿原」を地元の皆さんと共に、理解し、守り、次の世代に引き継いでいきたい。

11月10日(土)、9:30~14:00 自然観察会

14:30~16:30 ミニシンポジウム 開催

一人でも多くの方に本県屈指の「山門水源の森」の素晴らしさを知っていただくと共に、保全の重要性を認識して活動していきたい。

当クラブは、創立以来青少年育成を第一に活動しており、同好会活動のひとつ野球同好会は、地元中学生と親善試合を通じて、ロータリーの広報活動として、また青少年育成に力をいれている。



暗夜の海に輝く燈台

丹尾 太（福井西RC）

当クラブの自慢は、昨年度のカバナー賞を頂いた、ケナフ栽培を通しての地球環境保護運動があります。昨年度の会長・西畑二郎会員より土地の提供を受け、社会奉仕委員長・小林政志会員の献身的努力と熱意に動かされた全会員の奉仕活動の成果です。

周知の如く、地球環境で問題になっている大気中のCO₂増加による地球温暖化に対し、ケナフは優れたCO₂吸収力があります。

私共の仕事はささやかなものですが、ケナフの栽培、手入れ、収穫を通じ、地域の幼稚園、小学校、婦人会等と共同作業を行い、環境保護の意識を高揚することができたと自負しております。

なお、ケナフは継続事業として本年に引継がれ、中道昌宏会長、五十嵐清人委員長のもとに昨年以上の成果を上げるべく張切っております。

各委員会活動はケナフ以外にも活発に行われておりますが、紙面の都合で割愛させて頂き、当クラブの特色を述べてみます。

その1は、家族的雰囲気であり、こじんまりしたクラブで、お互いに気心の知れた仲間同志であり、例会はいつも和やかな雰囲気に包まれています。これからも当クラブのカラーとして続けていきたいものです。

その2は、寛容の精神です。各会員は入会された動機も、仕事や人生に対する考え方も千差万別です。お互いに相手の立場を認め、すべてを包みこむ寛容の精神が全会員に行きわたっています。ロータリーの創始者ポール・ハリスは、ロータリー精神を一語で表すとすれば「寛容」だ、と申しております。当クラブは今後も寛容の精神を失いたくないと思っております。

その3は、ロータリーの理念であります。ロータリーの理念は、例えば暗夜の海に輝く燈台のようなもので、これなくしてはクラブという小舟は波風に翻弄され、目的を見失ってしまうことでしょう。当クラブの会員は理念をよく理解しております。ロータリーには冬の時代と言われる現在ですが、理念を堅持していれば、いつかは春を迎えることができると信じております。

